

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣について



日本で最初の記念貨幣が発行されたのは1964年の東京オリンピックが開催されたときでした。そして、東京において2度目の開催となる2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会でも記念貨幣が発行されます。今回はどんな記念貨幣が発行されるのか、記念貨幣を製造している造幣局の取り組みも含め解説します。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣を一連のシリーズとして 本年11月以降順次発行

理財局国庫課長 木村秀美

今後37種類の記念貨幣を 4回に分けて発行

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向けた機運を醸成するため、同大会を記念する貨幣を発行する旨の閣議決定（2016年7月12日）が行われました。財務省はこの決定を受け、大会開催までに複数種類を発行するとの方針の下、本記念貨幣の第一弾として、2016年リオデジャネイロ大会終了後の10月に開催都市の引継をテーマとする記念貨幣を発行しました。

その後、スポーツ関係者やマスコミ、デザインの専門家等の委員で構成された「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣に関する会合」（第1回：2017年5月、第2回：同年6月、第3回：

2018年6月）（以下、「会合」）を開催し、どのようなコンセプトで、どのような図柄の記念貨幣を、どのような形で発行していくことが望ましいか等についてご意見をいただきながら、今後大会開催までに発行する記念貨幣についての検討を進めて来ました。2017年度から製造を開始し、大会2年前を目途に最初の発行ができるよう、第1・2回会合を踏まえ、財務省として発行計画の一部は決めていましたが、今般、第3回会合を終え、最終的に発行計画の概要を固めることができましたので簡単に紹介します。

(1) 発行貨種・種類数

発行貨種・種類数については、近年の開催国における発行例^{*1}や独立行政法人造幣局（以下、「造幣局」）の製造スケジュール等を勘案し、一万円金貨（3種

*1) (参考) 近年の各開催国における発行例

- リオ大会／38種類（10レアル金貨、5レアル銀貨、1レアル銅貨）
- ロンドン大会／125種類（5ポンド（金貨、銀貨、銅貨）、2ポンド（金貨、銀貨、銅貨）、50ペンス（銀貨、銅貨）等）
- 北京大会／33種類（150元金貨、10元銀貨、1元銅貨等）

類)、千円銀貨(12種類)、五百円銅貨(2種類)及び百円銅貨(20種類)を合わせて37種類とすることとしています。

(2) 全体に占めるパラリンピック貨幣の割合

全体に占めるパラリンピック貨幣の割合は、リオ・ロンドン大会では概ね1割程度でしたが、パラリンピックの認知度向上を進める政府方針^{*2}を踏まえ、大会参加選手数の割合等に鑑み、32.4%まで引き上げることとしています。

(3) 発行時期

大会成功に向けた機運醸成を図る観点から、2018年11月頃から大会開催直前にかけて、4回に分けて発行^{*3}していくこととしています。

(4) 図柄の題材

図柄の題材については、記念貨幣を東京大会のレガ

シーとして残していく観点から、過去大会の例^{*4}も参考に、表面については、「スポーツ理念」、「競技」及び「東京大会の象徴」の3類型とすることとしています。

(5) 発行貨種別の図柄類型

上記(1)～(4)を踏まえ、発行貨種別の図柄類型は一万円金貨は「スポーツ理念」、千円銀貨は「競技」、五百円銅貨は「東京大会の象徴」及び百円銅貨は「競技」・「マスコット」とすることとしています。

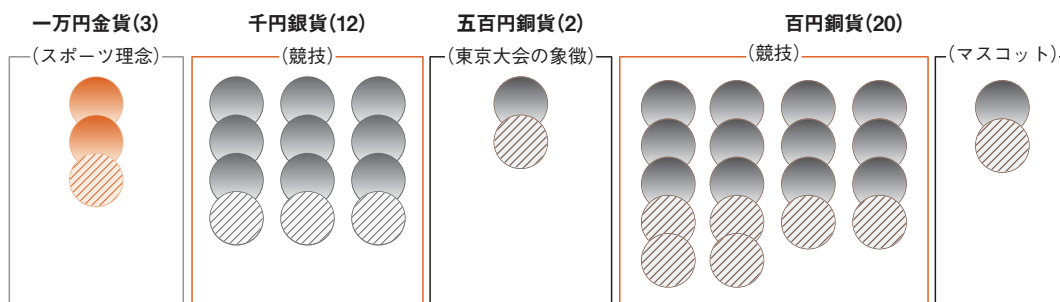
なお、国民参加の観点から、五百円銅貨については、「オリンピック・パラリンピックの象徴・関連施設等」、「日本を代表する芸術作品」、「日本・東京を代表する風景」の3分野について、造幣局作成の複数の図柄案を提示した上で、はがきやインターネット等による投票を行う予定としています。図柄や投票方法等の詳細については、多くの国民の方が記念貨幣に関心をもって投票に参加していただけるよう、検討しているところです。

(参考) 過去大会のパラリンピック選手の割合

西暦	開催場所	パラリンピック選手の割合	(参考) 参加選手数	
			オリンピック	パラリンピック
2016	リオ大会	28%	11,237	4,333
2012	ロンドン大会	29%	10,568	4,237
2008	北京大会	27%	10,942	3,951

(注) オリンピック参加選手数は、国際オリンピック委員会の発表による。
パラリンピック参加選手数は、日本パラリンピック委員会の発表による。

発行のイメージ (37種類)



(注1) 斜線はパラリンピック貨幣。

(注2) 全体に占めるパラリンピック貨幣の割合32.4% (競技図柄に占める割合30.0%)。

^{*2} 「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針(2015年11月27日閣議決定)」〈抄〉

1. はじめに(運営の成功のための体制)

パラリンピック競技大会については、パラリンピックの認知度向上、ユニバーサルデザインに基づく競技会場整備をはじめとして、過去最高の環境整備を進める。

^{*3} 第1次:2018年11月頃(開催の約2年前)、第2次:2019年7月頃(開催の1年前)

第3次:2020年1月頃(開催の半年前)、第4次:2020年7月頃(開催直前)

^{*4} 過去大会における記念貨幣の図柄題材

- リオ大会:「オリンピックモットー(より速く、より高く、より強く)」、「競技」、「ブラジルの建築・音楽・動物・植物」など
- ロンドン大会:「オリンピックモットー(より速く、より高く、より強く)」、「競技」、「イギリスを象徴する文化及び歴史等」など
- 北京大会:「競技」、「中国の伝統的文化及び建築物」、「中国の伝統スポーツ」など

(6) 図柄題材競技の選定基準

東京大会ではオリンピック33競技、パラリンピック22競技の計55競技の開催が予定されています*5。この中から個別に図柄の題材とする競技について、次の3つの観点から選定することとしました。

- i オリンピック・パラリンピック競技大会におけるメダル獲得競技
- ii 国民体育大会等での実施競技
- iii 「オリンピック東京大会における追加競技」及び「障害の有無・程度や性別・年齢等を問わず、皆が共に実施可能な競技で、共生を象徴し、共生社会の実現に資するパラリンピック競技」

全体の発行種類数37種類のうち、千円銀貨12種類、百円銅貨18種類の計30種類が「競技」を対象とした図柄となりますので、上記選定基準に基づき、30競技（オリンピック21競技、パラリンピック9競技）を下表のとおり選定し、千円銀貨及び百円銅貨に振り分けています。

なお、個別に図柄化する競技以外の競技についても、競技に関する「ピクトグラム」*6（今後、公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から公表予定）を活用し、複数の競技を一枚の貨幣の上にまとめて図柄化することで、オリンピック・パラリンピック全55競技を記念貨幣の図柄に採用することとしています。

本年11月には第一次分を発行へ

(1) 第一次発行分の図柄等

これまで東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣の発行計画の概要について述べてきましたが、既に本年2月には、一連のシリーズとして4回に分けて発行する記念貨幣のうち、第一次発行分の図柄等を公表しました。具体的には、一万円金貨1種類、千円銀貨2種類及び百円銅貨2種類の計5種類（オリンピック3種類、パラリンピック2種類）を発行することとしています。図柄については下図のとおりです。

図柄題材とする競技

東京オリンピック競技大会実施競技 (21競技)

- 千円銀貨〈9競技〉
 - 水泳
 - 陸上競技
 - バドミントン
 - 野球・ソフトボール
 - ボクシング
 - 体操
 - 柔道
 - 卓球
 - レスリング
- 百円銅貨〈12競技〉
 - アーチェリー
 - カヌー
 - 自転車競技
 - フェンシング
 - サッカー
 - 空手
 - スケートボード
 - スポーツクライミング
 - サーフィン
 - テニス
 - バレーボール
 - ウエイトリフティング

東京パラリンピック競技大会実施競技 (9競技)

- 千円銀貨〈3競技〉
 - 柔道
 - 水泳
 - 車いすテニス
- 百円銅貨〈6競技〉
 - アーチェリー
 - 陸上競技
 - ボッチャ
 - 自転車競技
 - ゴールボール
 - ウィルチェアーラグビー

* 競技の並びは英語表記のアルファベット順

図柄

競技大会名	東京オリンピック競技大会		
貨幣の種類	一万円金貨	千円銀貨	百円銅貨
図柄 (表面)			
図柄 (裏面)			

(C) Tokyo2020 (C) IOC

競技大会名	東京パラリンピック競技大会		
貨幣の種類	一万円金貨	千円銀貨	百円銅貨
図柄 (表面)	(第一次発行分では発行せず)		
図柄 (裏面)			
			
			

(C) Tokyo2020 (C) IPC

*5) 公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会のホームページより (<https://tokyo2020.org/jp/games/sport/>)

*6) ピクトグラム（案内用図記号）とは、「言葉によらない、目で見ただけで案内を可能とするもの」であり、多くの公共交通機関や公共施設などで広く使われています。（出典：経済産業省ホームページより）(<http://www.meti.go.jp/press/2016/07/20160704001/20160704001.html>)

(2) 2020年東京オリンピック・パラリンピック 競技大会記念貨幣の特徴

本記念貨幣には、図柄のデザイン向上や偽造防止の観点から、各種工夫が施されています。ここでいくつかご紹介します。

ア. 千円銀貨のデザイン

はじめに、千円銀貨の表面について、オリンピック競技図柄は「水泳」、パラリンピック競技図柄は「柔道」となっていますが、その背景には、日本の伝統紋様を取り入れることとし、「水泳」では『流水紋様』^{りゅうすい}、「柔道」では『角繫ぎ』^{かくつな}を採用しています。今後、順次発行される各種千円銀貨の競技図柄の背景にも、今回同様、競技図柄と相性の良い日本の伝統紋様を採用する予定ですので、各競技図柄に対しどのような伝統紋様が採用されるかぜひ注目してください。

次に裏面について、東京大会のエンブレムとともに、東京都の花であるソメイヨシノ及び東京都の木であるイチヨウの葉で構成しています。その中のイチヨウの葉のデザイン部分には偽造防止技術の『潜像』^{せんぞう}を搭載しており、上方向に傾けた場合と下方向に傾けた場合でイチヨウの葉の見え方が異なる仕様となっています。本記念貨幣を手にした際は、イチヨウの葉に搭載されている偽造防止技術の『潜像』^{せんぞう}をぜひご自身でお確かめください。

イ. 百円銅貨の仕様

百円銅貨は偽造防止の観点からクラッド貨として発行することとしています。『クラッド貨』とは、2種類の金属板をサンドイッチ状に重ね合わせる「クラッド技術」を用いた貨幣であり、本記念貨幣の素材は「白銅」及び「銅」の2種類となっています。

また、百円銅貨は金融機関の窓口において引換え^{*7}を行うこととしていますが、オリンピック貨幣とパラリンピック貨幣の識別性を向上させる観点から、側面の斜めギザに工夫を施しています。具体的には、オリンピック分のギザは間隔を狭く、パラリンピック分のギザは間隔を広くしています。百円銅貨が発行された際は、ぜひ全国の金融機関において引換えを行って

いただき、実際にご自身の手で触って確認してみてください。

(3) 第一次発行分の 販売スケジュール等について

第一次発行分の記念貨幣について、一万円金貨（発行枚数：4万枚、販売価格：120,000円）及び千円銀貨（発行枚数：各10万枚、販売価格：9,500円）は7月10日（火）から8月1日（水）まで、造幣局にて販売申込の受付をしています。本記念貨幣の購入をご希望の方は、申込受付期間内に郵便はがき、もしくは造幣局オンラインショップ（<https://www3.mint.go.jp/>）によりお申込みください。具体的なお申込方法等については、造幣局のウェブサイトに掲載されていますので、興味のある方はぜひご確認ください。

また、百円銅貨については本年11月頃を目途に、全国の金融機関の窓口において額面価格（百円）により引換えを行う予定です。具体的にいつから、どこの金融機関において引換えができるか等については、財務省から本年10月を目途に公表を行う予定ですので、ぜひ財務省のホームページ等をご確認ください。

東京大会の成功に向けて

上述のとおり、本年11月の第一次分の発行を皮切りに、大会開催直前の第四次分まで37種類ものオリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣が発行されます。

図柄作成や図柄投票等、まだ多くのやらなければならないことが残っていますが、本記念貨幣が国民に広く親しまれ、記念貨幣を通じて東京大会の成功が人々の記憶に永く刻まれるものとなるよう、懸命に取り組んでまいりたいと思いますので、皆様もオリンピック・パラリンピックとともに、ぜひ記念貨幣をお楽しみください。

次ページ以降は、記念貨幣の歴史や現場で働く局員へのインタビューを交えながら、造幣局の役割について紹介します。

^{*7} 記念貨幣には、○額面価格と同額で金融機関において引換えを行う「引換型」と、○額面価格を上回る価格で造幣局が販売する「販売型」の2種類がある。

金貨、カラーコイン、シリーズもの……

時代に合わせて新たな記念貨幣の製造にチャレンジする造幣局

取材・文 向山勇

日本初の記念貨幣は昭和39年の東京オリンピックで発行

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて37種類の記念貨幣が発行されることになりましたが、日本で最初に記念貨幣が発行されたのは、1964年に東京オリンピックが開催されたときでした。その際には、千円銀貨が1,500万枚、百円銀貨が8,000万枚発行されました。最初に発行が決まったのは百円銀貨で図案は公募されました。結果3万512点の応募があり、その中からオリンピック聖火台と五輪マークをデザインしたものが一席に入選し、貨幣の表に採用され、裏には太陽がデザインされました。

その後、千円銀貨の発行が決まり、図案は造幣局が作成、表は日本の象徴である富士山と桜、裏には五輪マークがデザインされました（図表1左参照）。百円銀貨は1964年9月21日と11月24日、千円銀貨は10月2日と29日の2回ずつ、銀行での引き換えが行われました。当時の新聞を見ると引き換えを希望する人が長い列を作ったことがわかります。日本最初の記念貨幣は、国民から非常に好評をもって迎えられたことを示すエピソードといえるでしょう。

その後、さまざまな記念貨幣が発行されることになりましたが、その中には数多くの新しい試みも行われ

ました。その一つが天皇陛下御在位60年記念十万円金貨です（図表1中参照）。昭和天皇が1985年12月25日にご在位60年目を迎えられたことを記念して、1986年に発行されたもので、記念貨幣としては日本で初めての金貨となりました。金貨としても造幣局にとっては、1932年の二十円金貨以来で54年ぶりの製造となったのです。

天皇陛下御在位60年記念貨幣では、他にも一万円の銀貨、五百円の白銅貨も発行されました。十万円金貨と一万円銀貨の引換に当たっては、1986年10月16日に全国の金融機関と郵便局の窓口で抽選券が配布されました。当日は抽選券を入手しようとする人で窓口には早朝から長蛇の列ができて用意された抽選券は午前中でほぼなくなったといえます。

その後も2003年の第5回アジア冬季競技大会記念千円銀貨では、日本で初めてのカラー記念貨幣（図表1右参照）が発行されたり、地方自治法施行60周年を記念して2008年から発行がスタートした地方自治法施行60周年記念貨幣は47都道府県ごとに違うデザインで発行するという初めてのシリーズものの記念貨幣となりました。

このように造幣局では常に時代に合わせた新しいチャレンジをしています。

図表1 初めての記念貨幣の例

初めての記念貨幣

東京オリンピック記念千円銀貨幣

発行年	1964年
図柄(表)	日本の象徴である富士山と国花の桜
図柄(裏)	桜と五輪マークに算用数字1000



初めての記念金貨

天皇陛下御在位60年記念十万円金貨

発行年	1986、87年
図柄(表)	平和を意味する鳩と日本の自然、稲作文化を意味する水
図柄(裏)	菊の御紋章



初めてのカラー記念貨幣

第5回アジア冬季競技大会千円銀貨幣

発行年	2003年
図柄(表)	スキーとスケートの選手
図柄(裏)	大会シンボルマークとりんご



最先端の技術を利用し 貨幣の偽造を防止



記念貨幣は国家的な記念事業として閣議決定を受けて発行されるもので、金融機関を通じて交換が可能なものと素材に貴金属を含み、製造に必要な費用が額面価格を超えるプレミアム貨幣があります。

プルーフ貨幣は、貨幣をより美しくするため、表面を鏡のように磨いたもの。製造方法には、表面を磨きあげた極印（ハンコの役目をする金型）を使用する他、模様を鮮明にするため、圧印を2回打ちするなど、特別な製造を行っています。

カラーコインは、デザイン性を高めるために色をつ

けた貨幣で近年、各国で発行されるようになっていきます。前述のように日本でも青森県で開催された第5回アジア冬季競技大会の記念貨幣に初めてカラー印刷を施しています。

これらの記念貨幣はどのようにして製造されるのでしょうか。貨幣の種類によっても異なりますが、ここではカラーコインの製造方法を紹介します。具体的な工程は図表2のように10に分かれています。この過程では、偽造防止のための技術も施されています。

例えば通常貨幣の500円貨幣には、(1) 潜像加工、(2) 斜めギザ、(3) 微細点加工、(4) 微細線加工の4つの偽造防止技術が採用されているほか（図表3参照）、地方自治施行60周年記念500円貨幣においては、3種類の材質と複雑な構造を持つバイカラー・クラッドとい

図表2 カラーコインの製造工程

① 溶解

金や銀などの貨幣の材料を電気炉で溶かして板状（鋳造板）にし、コイル状に巻き取ります。

② 圧延

コイル状に巻き取られた鋳造板を平らに延ばして、貨幣の厚みにします。これを圧延板と言います。

③ 圧穿

圧延板を貨幣の形に打ち抜きます。貨幣の形に打ち抜かれたものを造幣局では、円形（えんぎょう）と呼んでいます。

④ 圧縁

貨幣の模様を出しやすくするため円形の周囲に縁をつけます。

⑤ 円形焼鈍

さらに貨幣の模様を出しやすくするため、円形に熱を加えて軟らかくします。

⑥ 円形研磨

プルーフ特有の光沢を出しやすくするため、研磨機により円形表面を磨いて、光沢を出します。

⑦ 圧印

表面が磨かれた円形に貨幣の模様をプレスします。貨幣の模様をより鮮明にするため、2回プレスします。

⑧ 防錆塗装

変色等を防止するため、貨幣全面に防錆塗料を塗布します。

⑨ カラー印刷

色ごとに作成した版を貨幣の表面に繰り返し重ね印刷し、デザイン通りの色を出します。

⑩ 検査・組み込み

圧印された貨幣の模様やカラー印刷の状態を検査し、合格した貨幣を丁寧にケースに組み込みます。

現役局員に聞く！

造幣局の仕事 ① 額に汗する準備と工夫が高度な技術を実践にする



貨幣部 貨幣製錬課
貨幣係 総括作業長
大里謙一 さん

—— 現在は係の総括作業長として、全体を総括されているそうですが、これまでにどのような業務を担当して来られましたか。

大里 貨幣製錬課は記念貨幣の金貨、銀貨の製造を担当する部署ですが、その中で貨幣係として圧印、防錆塗装、印刷の3つの工程を経験してきました。

—— どのような部分が難しいですか。

大里 例えば防錆塗装では、一度に60枚の貨幣に塗装を施すのですが、トラブルが発生したときは60枚すべて不全になってしまいます。自分の工程で不全が起きてしまうと落ち込みますね。誰も責めたりはしませんが、記念貨幣の材料は通常の貨幣よりも高価なものを使用していますの

で、無駄になるコストも大きく、責任を感じます。

—— ほこりなどが入ってしまうこともありますか。

大里 それを避けるためにクリーンルームで作業をしていますが、人の出入りもあるので100%は避けられません。床、壁、天井のすべてを毎日モップで水拭きをしています。

—— どんなときにやりがいを感じますか。

大里 代々の総括作業長が私の提案を受け入れてくれ、さまざまなことに挑戦させてくれたのがうれしかったです。例えば、防錆塗装はミクロン単位の範囲で塗装の厚さが決まっていますが、私はできるだけ薄くして塗装が目立たないようにしたいと考えました。そこで規定の範囲内で薄くすることを提案したところ「やってみる」と言ってくれました。実際にやってみると「前よりもよくなったな」と評価してくれました。いまは私が総括作業長の立場になりましたので、部下の提案を積極的に受け入れる姿勢を受け継いでいきたいと考えています。

図表3 五百円貨幣の偽造防止技術

潜像加工

ヒミツの数字で
お金を守る



貨幣を見る角度、つまり光の入射角、反射角による反射光の明暗の差による現象を応用したもの。英国の2ポンド貨をはじめ諸外国の貨幣にも使用されているが、流通貨幣としての発行は数例のみとなっている。

斜めギザ

大量生産型貨幣では
世界初



貨幣側面のギザを斜めにすることで偽造抵抗力が向上する。五百円ニッケル黄銅貨は、大量生産型の貨幣では世界初の斜めギザを施した貨幣となっている。

微細点加工

職人技の微細点が
複製を防止



転写等による偽造を防ぐため貨幣模様の中央部（胴部）に微細な穴加工を行ったもの。これを微細点と呼ぶ。微細加工における最先端技術を使用したもので偽造防止効果非常に高い。

微細線加工

髪より細いミクロの
世界で偽造を防ぐ

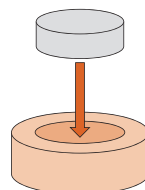


貨幣上下の文字部「日本国」「五百円」の周りに扇状に微細な線模様を施している。微細線は髪の毛より細く金属彫刻における最先端技術を使用したもので偽造を防ぐ効果は非常に高い。

図表4

バイカラー

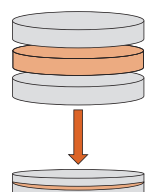
二重構造が
偽造を歯止め



貨幣の中心と外側に異なる金属を用いて、ドーナツ状にしたもの。下記のクラッドと組み合わせた「バイカラー・クラッド」は地方自治法施行60周年記念500円貨幣に用いられている。

クラッド

隠された金属が
ミソとなる



異なる金属をサンドイッチ状に挟み、3層構造の素材としたもの。東京2020オリンピック・パラリンピック記念貨幣の百円に採用される。

※政府インターネットテレビ「徳光&木佐の知りたいニッポン!」において、通貨（貨幣・紙幣）の偽造防止技術を公開中。
⇒<https://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg16302.html>

う偽造防止技術が採用されています（図表4参照）。2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の記念貨幣も、貨種毎に相応しい偽造防止技術が採用されるなど、最先端の高度な技術により製造されています。

500円貨幣は世界的にも高額な貨幣であり、偽造される標的になりやすい貨幣といえます。しかし、これらの偽造防止技術によりその発生^{*}は抑えられています。

現役局員に聞く！

造幣局の仕事 ② 名工の技能がオートメーションを成り立たせる



貨幣部 貨幣課
成形係 技能長
井上和行 さん

—— どんなお仕事を担当されていますか。

井上 貨幣の製造工程で言えば（P7参照）、成形係は圧穿、圧縁と円形焼鈍の部分を担当していますが、実際には圧穿、圧縁、焼鈍、洗浄、脱水・乾燥、計数の6つの工程がひとつのラインとして高度に自動化されています。入局して新たに成形係に配属になると、一つひとつの工程に年単位で携わり、仕事を覚えていきます。私もそうですが、多くの場合、別の係に異動することはなく、成形係の中で6つの工程の技術を磨いていくことになります。

—— 記念貨幣も担当しているのですか。

井上 百円、五百円の記念貨幣は担当させていただいています。

—— どのくらいで一人前になれるのでしょうか？

井上 すべての工程で一通りの作業ができて、トラブルにも対応できるようになるには、20年から30年とはかかると言わ

れています。私自身、入局して28年が経過しましたが、まだまだ勉強しなければいけないことがあると感じています。

—— とくに難しいところはどこなところですか。

井上 例えば圧穿の工程では、コイル状になった圧延板を巻き戻して機械にセットする際は、微調整のために手で押さえたりします。また、圧縁では、貨幣の模様を出しやすくするために周囲に縁をつけるのですが、同じ寸法が出るように機械を微調整しなければなりません。一つひとつが経験と技術を必要とします。

—— どんなときにやりがいを感じますか。

井上 元来モノづくりが好きですし、自分が製造に携わった貨幣を日本中の人が使ってくれていると思うととてもやりがいを感じます。

—— 厚生労働大臣が表彰する2017年度「現代の名工」^{*}にも選出されたそうですね。

井上 とてもありがたいことです。円形には直径で±0.01ミリ単位の精度が求められるのですが、その検査と品質維持の技術を評価していただいたようです。

※現代の名工：20の部門でその道の第一人者（卓越した技能者）として2017年度は全国で149人が表彰を受けた。

^{*}） 500円貨幣の流通枚数に対する偽造発見枚数の2016年における割合は、ユーロ貨幣の約1/46です。

造幣局工場見学及び博物館（展示室）

本局

住所：大阪市北区天満1-1-79

（工場見学（ガイドツアー））

見学日：月曜日～金曜日（年末年始、祝日・国民の休日を除く）

見学時間：午前9時、10時、10時30分
午後1時、1時30分、2時30分

所要時間：1時間30分

事前予約：2か月前の月初めから、前日まで造幣局ホームページ

「工場見学予約サイト」にて予約が可能です

問合せ：06-6351-6150

（博物館）

休館日：年末年始（臨時休館有）

開館時間：午前9時～午後4時45分（入館は午後4時まで）

電話：06-6351-8509

（ミントショップ）

場所：造幣局構内正門東横

営業時間：午前9時～午後4時30分

電話：06-6351-5370

土日祝日も開館中！

さいたま支局

住所：さいたま市大宮区北袋町1-190-22

（工場見学（自由見学））

見学日：月曜日～金曜日（年末年始、祝日・国民の休日を除く）

博物館と直結する見学通路からご自由に見学いただけます。

見学時間：午前9時から午後4時30分まで

ガイドツアー（要予約）：午前10時、午後2時（所要時間：1時間30分）
2か月前の同日より、10日前までに予約してください。

問合せ：048-645-5899

（博物館）

休館日：年末年始（臨時休館有）

開館時間：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

電話：048-645-5899（月～金曜日（祝日を除く））

048-645-5990（土・日曜日、祝日）

（ミントショップ）

場所：造幣さいたま博物館内

営業時間：午前9時～午後4時30分

電話：048-645-5918

土日祝日も開館中！

広島支局

住所：広島市佐伯区五日市中央6-3-1

（工場見学（ガイドツアー））

見学日：月曜日～金曜日（年末年始、祝日・国民の休日を除く）

見学時間：午前9時20分、9時40分、午後1時20分、1時40分

所要時間：1時間30分

事前予約：2か月前の月初めから、10日前までにお問い合わせください。

問合せ：082-922-1597

（展示室）

休館日：土日、祝日・国民の休日、年末年始（臨時休館有）

開館時間：午前9時30分～午後4時

電話：082-922-1597

（ミントショップ）

場所：造幣展示室内

営業時間：午前9時30分～午後4時

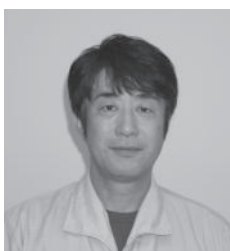
電話：082-922-1597

※業務の都合により見学できない場合があります。



現役局員に聞く！

造幣局の仕事 ③ ミクロの模様は手作業から生まれる



事業部 装金極印課
装金極印係 作業長
土堤内靖 さん

—— 装金極印課ではどのようななお仕事を担当していますか。

土堤内 極印とは貨幣の金型のことで。最初は機械で彫り、その後、手作業で機械彫りによるすじ状の凹凸を修正し、機械ではきざめないミクロの模様を彫刻します。入局してから35年、一貫してこの仕事に携わっていますが、まだまだ勉強の毎日です。

—— 記念貨幣の金型も担当するのですか。

土堤内 通常貨幣も記念貨幣も金型はすべて装金極印課で担当しています。

—— そもそも造幣局に入局したきっかけは何ですか。

土堤内 私は大阪出身なので造幣局のことは子どものころから知っていました。それもあってか貨幣に興味を持ち、入局しました。

—— 入局したときの印象はどうでしたか。

土堤内 装金極印課に配属された当所は、先輩たちの仕事ぶりを見ると、みんな顕微鏡をのぞきながら作業をしてい

るので、実際に何をしているのかわかりませんでした。しかし、出来上がってきたものを見ると、素晴らしいものでしたので「自分にもできるのだろうか」という印象を持ったことを覚えています。

—— 一人前になるにはどのくらいかかりますか。

土堤内 この部署では使う道具はすべて自分で作るので、最初は道具作りから学んでいきました。その後は、メダルなどの比較的簡単なものから担当していき、貨幣を担当できるまでには10年ほどかかると言われていました。ただ最近では、5年ほどで貨幣を担当できるまでに育て、10年経過したときには1人立ちできるようにしたいと考えています。

—— どんなときにやりがいを感じますか。

土堤内 私はいま十円玉を担当していますので2018年に製造された十円玉はすべて私が修正した金型から作られることになります。それが日本中に出回るわけですから、とてもやりがいを感じます。十円玉の表に描かれた平等院の部分はとくに難しいのですが、局外の方にそれを説明すると「これから大事にします」と言ってくださることもあり、そんなときもうれしいですね。